

防災講和

令和5年度は計27回(10月末時点)区民に対する水害を含む防災講和を実施

学校・町会・自治会などから依頼を受け、区役所の防災センターの見学や防災講和を実施し、区の防災対策等について、以下の資料や水害ハザードマップを参考に説明を行っている。
参加者は概ね20～30名程度。



墨田区都市計画部
危機管理担当防災課

本日の流れ（約20分）

- 1 自己紹介
- 2 防災課の仕事
- 3 地震への備え
- 4 水害への備え
- 5 中学生自主防災組織の紹介
- 6 まとめ

墨田区の避難所

- ① 指定避難所
区小中学校、公共施設等 ⇒ **計39か所**
(収容人数：小学校約1,000人～、中学校約1,500人～)
- ② 追加開設（①で収容しきれない等）
区立総合体育館及び都立高校 ⇒ **計6か所**



江東区音声版水害ハザードマップ作製・配布(6月)

○3種類の水害ハザードマップ及び洪水高潮ブックレットの内容を録音した、「江東区音声版水害ハザードマップ」を作成

江東区音声版ハザードマップ

・区民に向け配布している、「江東区水害ハザードマップ」3種類および「洪水高潮ブックレット」に掲載されている情報を音訳し、ホームページ上に公開したとともに、必要な方にCD版を配付いたしました。具体的には、江東区の地形や水害の歴史、メカニズム、水害への備え方、避難に関する情報のほか、区内の丁目ごとの最大浸水深、浸水継続時間、避難所の場所などを音声で収録しています。



Tweet LINEで送る 更新日：2023年6月12日

江東区音声版水害ハザードマップ

3種類の水害ハザードマップ及び洪水高潮ブックレットの内容を録音した、「江東区音声版水害ハザードマップ」を作成しました。

学習編では主に「洪水高潮ブックレット」に記載されている内容を収録しています。

地図編では水害が発生したときの各丁目ごとの浸水の深さ、浸水が続く時間など地図に記載されている内容を収録しています。

音声ファイル (MP3データ)

作成日：令和5年5月（令和5年版）

ファイル名をクリックすると、音声の流れます。

<学習編>

- 1 はじめに (MP3：269KB)
- 2 目次 (MP3：874KB)
- 3 水害を知る (MP3:528KB)
- 4 危険を知る (MP3：965KB)
- 5 対応を知る (MP3:506KB)
- 6 災害への備え (MP3：368KB)
- 7 コラム (MP3:5KB)
- 8 問い合わせ先 (MP3：495KB)

<地図編>

- 0 目次 (MP3：401KB)
- 1 音声版水害ハザードマップで伝える地図情報について (MP3:386KB)
- 2 各地区ごとの最大浸水深、最大浸水時間(各地区名をクリックしてください)
 - (1) 白河地区 (MP3:3,000KB)
 - (2) 富岡地区 (MP3：490KB)
 - (3) 豊洲地区 (MP3：592KB)
 - (4) 小松橋地区 (MP3：683KB)
 - (5) 東陽・木場地区 (MP3:1,466KB)
 - (6) 亀戸地区 (MP3:1,015KB)

防災カタログギフト作成・配付

○防災カタログギフト「防災都市こうとうそなエールギフト」を区内全世帯に配付

▶ 防災カタログギフト「防災都市こうとう そなエールギフト」を区内全世帯に配付

関東大震災から100年という節目の年であり、自助による区民の防災力の更なる底上げ、防災啓発の一層の推進を図ることを目的として、防災商品に特化したカタログギフトを全戸配付いたしました。



水害ハザードマップ説明会の実施

- ・5月、6月の土曜日に、区民を対象とした水害ハザードマップ説明会を実施した。
- ・地域の特性や浸水リスクなどについて、区のハザードマップを用いて説明した。
- ・説明会は地域別に6回実施し、延べ130名以上の区民が参加した。

令和5年度 葛飾区水害ハザードマップ説明会

次第

- ・ 開会
- ・ 区長挨拶動画
- ・ 代表者挨拶
- ・ 水害ハザードマップ説明
- ・ 質疑応答
- ・ 閉会

①

令和5年度 葛飾区ハザードマップ説明会



②

図説明

- ①: 説明会次第
- ②: 説明会スライド
- ③: 水害ハザードマップ
- ④: 説明会風景1
- ⑤: 説明会風景2



③



④



⑤

要配慮者利用施設における避難確保計画作成等の促進

葛飾区

○実効性のある避難確保計画作成促進のため、葛飾区の様式改正及び周知・勧奨

課題①：提出された計画の助言・勧告を行う上で、避難確保計画の様式が類型に合わせ10種類あり作業の負担となる
解決策①：区が提出された避難確保計画の助言・勧告を行う上で、要点を絞って迅速かつ簡易に実施できるようにするため、様式を10種類から3種類に統合した。また、これまで自由様式としていた避難訓練報告についても参考となる様式を公開し、区の所管部署経由で再周知を図った。

課題②：要配慮者利用施設では、防災担当者が頻繁に変わるため、施設の避難確保計画の提出状況や提出・修正の必要性について、十分な引継ぎがなされず知らないことが多い。
解決策②：区ホームページに避難確保計画の対象チェックのフロー図を掲載して周知するとともに、未提出施設に対して郵送等による勧奨を行った。

➤これまで

公立小・中学校	老人ホーム・老健・障害者入所施設
私立学校	保育施設・児童発達支援施設
有床医療機関	保育ママ
障害入所施設	児童養護施設
認知症グループホーム等	大規模工場 ※そのまま残す

➤統合後

小学校・中学校
医療機関
社会福祉施設（通所型・入所型）

図1：解決策①様式の改正について

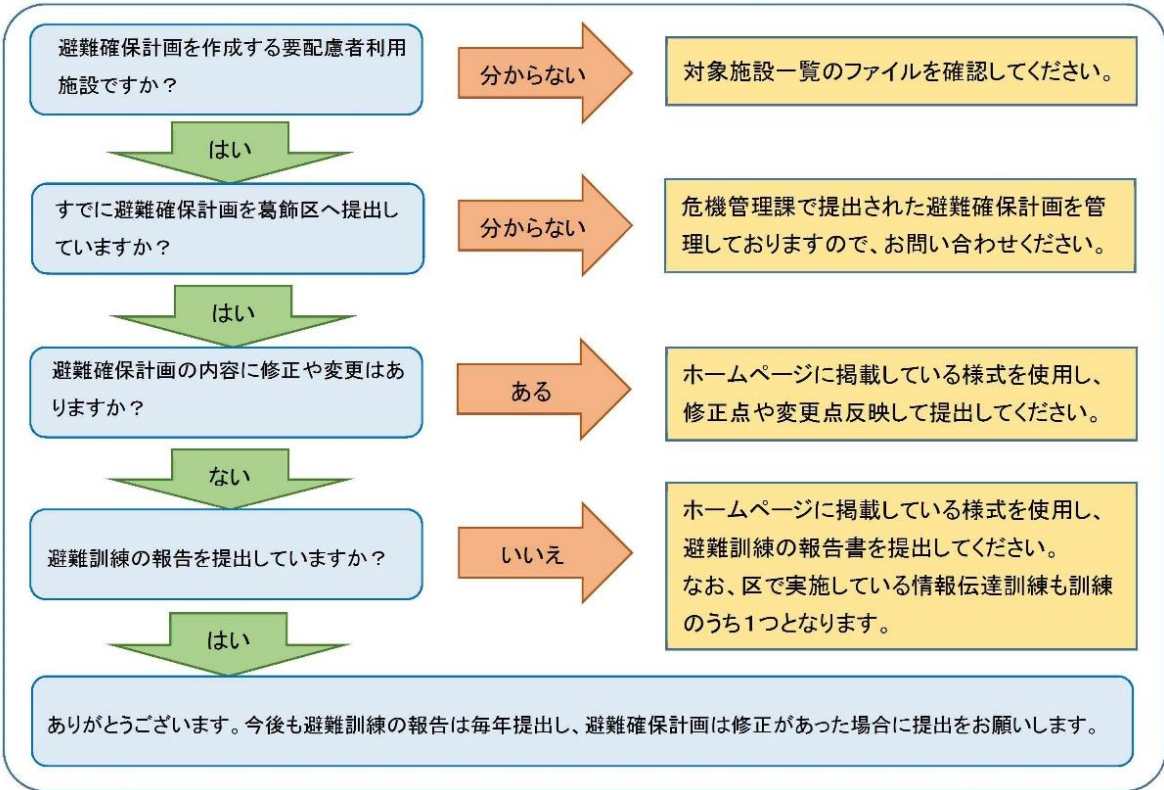


図2：対象チェックフロー図

河川水位確認を目的としたAI解析による実証実験

江戸川区

- ・河川カメラのライブ映像による河川氾濫状況の監視に加え、AI解析を用いた画像解析により水位の確認を行う。

河川カメラ位置図

【小岩健康サポートセンター】
江戸川監視

【旧上一色小学校】
新中川監視

【瑞江中学校】
旧江戸川合流監視

【なぎさ健康サポートセンター】
高潮監視



AI解析イメージ

入力画像

AIによる水面検出
(緑部分)イメージ
(加工した画像)

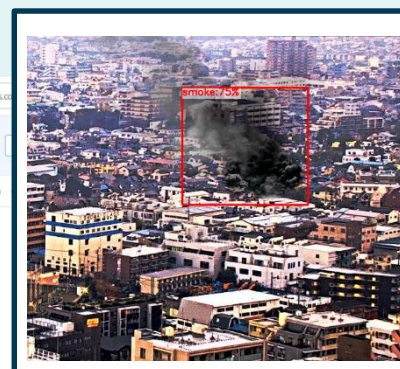
日中



夜間



運用画面イメージ



河川水位確認を目的としたAI解析による実証実験

江戸川区

● 目的

AI活用による水位観測・予測を担うことで、水位観測を行う職員の負担軽減や区民への正確かつ 迅速な情報発信につなげる。

● スケジュール(予定)

令和5年度 AI解析用カメラ設置

令和6年度 データ収集

令和7年度 AI解析による水位予測を開始

● 選定理由

- ・ 各カメラの用途としては健康サポートセンターや小学校から江戸川や新中川などの水位監視
- ・ 今回のAI解析では、水位観測を目的としているため、堤防と水面との境を判断する必要があり、堤防との見通しが取れて、画面上で堤防が直線となる箇所を選定する必要があるため、記載している4箇所の施設を選定